

平成21年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 1 4 6 0 3      2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名 若手研究(スタートアップ)      4. 研究期間 平成20年度～平成21年度

5. 課題番号 2 0 8 0 0 0 2 9

6. 研究課題名 類義述語句同定のための語彙的知識の体系化と集積

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
1 0 5 1 2 1 6 3	フリガナ: マツヨシ スグル 松吉 俊	情報科学研究科	特任助教

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	フリガナ		

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

本研究の目的は、類似した意味を持つ述語句(類義述語句)を同定するために必要な語彙的知識を整理して体系化するとともに、それらの知識を集積し、知識データベースを編纂することである。前年度に構築した知識データベースを用いて類義述語句を同定する調査実験を行い、その結果に基づいて、本年度は、以下の2つに関して研究を行った。

1. エントリーの標準化: 知識データベース利用時に発生した、単位の不一致の問題と表記のゆれの問題を解決するため、国立国語研究所が配布している形態素解析用辞書UniDicの単位と語彙素を用いて、知識データベース内のエントリーを標準化し、関係知識の適用範囲を拡大させた。具体的には、次のことを行った。(1)前年度に構築した知識データベースから、出現頻度の高い動詞を前件に持つ約19,000の関係知識と、形容詞を前件に持つ約2,000の関係知識を抽出した。(2)これらのエントリーを、プログラムと人手により、UniDicの単位で語彙素と対応付けた。最終的に、語彙素単位で16,157エントリー、実際に文に出現するレベルの単位である書字形基本形単位で351,264エントリーの関係知識を得た。

2. モダリティ表現辞書の編纂: 機能語や複合辞のように述語句のモダリティに直接関与する動詞や形容詞についての知識を整備することが、モダリティ解析処理に有用であることから、それらの辞書を編纂した。具体的には、次のことを行った。(1)辞書情報として記述すべき項目について調査・検討し、辞書の仕様を定めた。(2)内省に基づき、動詞3,145語、形容詞・形容動詞517語に対して、下位の述語に関与する、態度、真偽判断、価値判断のモダリティの情報を人手で記述した。

10. キーワード

- |            |          |         |
|------------|----------|---------|
| (1) 言語資源   | (2) 言い換え | (3) 述語句 |
| (4) 自然言語処理 | (5) 言語学  | (6)     |
| (7)        | (8)      | (裏面に続く) |

11. 研究発表（平成21年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（2）件    うち査読付論文 計（1）件

著者名	論文標題			
乾健太郎	言語情報編集のための広義モダリティ解析に向けて			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Japio 2009 YEAR BOOK	無	-	2009	128～133

著者名	論文標題			
松吉俊	テキスト情報分析のための判断情報アノテーション			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
電子情報通信学会情報・システムソサイエティ論文誌	有	Vol. J93-D	2010	-

〔学会発表〕 計（2）件    うち招待講演 計（0）件

発表者名	発表標題		
江口萌	日本語文章の事象に対する判断情報アノテーション		
学会等名	発表年月日	発表場所	
情報処理学会第193回自然言語処理研究会	2009年9月28日	京都大学(京都市)	

発表者名	発表標題		
江口萌	モダリティ、真偽情報、価値情報を統合した拡張モダリティ解析		
学会等名	発表年月日	発表場所	
言語処理学会第16回年次大会	2010年3月11日	東京大学(東京都)	

〔図書〕 計（0）件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--